



■J Aふじ伊豆の温州ミカン
管内では、主要産地のなんすん地区、伊豆太陽地区、あいら伊豆地区、富士地区で「寿太郎」や「由良」、「青島」などさまざまな品種のミカンを生産・販売しています。
品質向上と収量の安定確保に向け、営農アドバイザーによる指導巡回や土壌診断による施肥指導をはじめ、高温対策に向けた実証試験やドローンによる薬剤散布試験などを行っています。さらに産地維持のため、新規就農者の受入体制を強化し、J A全体の産地活性化に取り組んでいます。

■高温障害に対応
近年は夏季の高温が常態化し、ミカンにおいても栽培が困難になっています。
ミカンの高温障害の一つに「日焼け果」があります。日焼け果は果皮が変色して硬くなり、ひどいものだと果汁が無くなることもあります。対策として、サンテ（果実袋）の被覆や炭酸カルシウムの散布などがありますが、限られた方法のため、完全な対策にはなっていないのが現状です。
そこで本年度、静岡県果樹研究センターと各地区の営農アドバイザーが、管内全域で日焼け果の被害率調査を実施。これまで被害を達観で判断していたため、実際の被害がどのくらいかが分からない状況でした。本調査により被害率を明確にすることで、被害額を算出し、対策資材の過剰投資の抑制につなげます。
今後、数年間調査を継続し、簡易的で効率的な日焼け果対策の確立を目指します。



ドローンによる薬剤散布試験



各地で栽培講習会を実施

営農 トレンド

「営農」に関わるトレンドを
営農アドバイザーや担当者をご紹介します

温州ミカンの 高温対策への取り組み

J A管内では柑橘かんきつの生産が盛んです。J Aは品目別振興計画で温州ミカン
を主品目（広域で生産されている将来に向けて振興を図る特産品）販売高10
億円以上）に位置づけ、生産振興と販売強化に取り組んでいます。今回は温
州ミカンの取り組みを紹介します。

品質向上と
収量確保を目指します



柑橘トップ営農指導員
営農販売部 営農課

たけ たかひろ
武 剛広